

課題

困難な部活動維持

- 少子化等による部員の減少により
単独校での部活動継続が困難

移動・運搬の課題

- 複数校による合同部活動
生徒の移動、楽器の運搬、会場の準備が大きな負担

指導の課題

- 顧問が吹奏楽等の専門家ではない場合、顧問への負担が大きい

教職員の負担

- 外部の専門家が学校内に入るためには
顧問の立ち合いが不可欠

解決策

★デジタル部活動の活用★

- * 指導者と学校をオンライン接続
地理的・人的な制約のない、新しい部活動形態
- * 各学校に配備されたタブレット、端末や大型ディスプレイ等を活用して対応可能
- * リアルタイム双方向指導により、生徒のモチベーション向上に繋がる

課題への対策

移動・運搬の課題解消

- 複数校をオンラインでつなぐことで、生徒の移動や楽器の運搬をせずに、各学校にしながら合同部活動が可能となる

指導者の確保

- 人材豊富な都市部で指導者を確保し、専門知識を持った指導者がオンラインで指導できる環境を構築

顧問（教職員）の負担軽減

- 専門家による基礎からのパート練習、合奏指導によりき、練習効果が高まるとともに顧問の負担軽減にもつながる
- 外部指導者が来校しないため、顧問教師立ち合いの負荷も減る

受益者負担の軽減・謝金や運営費の低減

- 複数校をまとめて一度に多くの生徒を指導することが可能となり、受益者負担の軽減と運営費の低減にもつながる

実証事業の手応え

生徒の声

- 画面越しでも指導がスムーズで、パートごと専門の先生からの指導が受けられ理解が深まった
- また、他校の様子も知ることができ刺激になった

教育委員会の評価

- 地方での指導者不足を根本的に解決でき、多くの課題解決にもつながる効果的方法だと思う

今後の展開

2026年を目標に実証事業のノウハウを集約し
どの自治体でもスムーズに導入可能な
「標準パッケージ」の検討を進める